

別紙3（第7条関係）

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和5年度第3回宮古市市民自治推進委員会を、次のとおり開催しました。

令和5年10月24日

宮古市市民自治推進委員会

- 1 開催日時  
令和5年10月6日（金）13時30分～16時40分
- 2 開催場所  
宮古市市民交流センター「イーストピアみやこ」2階多目的ホール
- 3 会議の概要  
（1）令和6年度実施提案事業の審査について  
（2）令和6年度実施提案事業の審査結果について
- 4 問い合わせ先  
宮古市市民自治推進委員会事務局 宮古市 企画部 企画課  
電話 0193-68-9064

## 令和5年度第3回宮古市市民自治推進委員会【結果概要】

- 1 開催日時  
令和5年10月6日（金）13時30分～16時40分
- 2 開催場所  
宮古市市民交流センター「イーストピアみやこ」2階多目的ホール
- 3 出席委員  
10名（委員15名中半数以上出席につき、会議成立）
- 4 会議の概要  
令和6年度実施提案事業の審査及び結果を実施。すべて候補事業とする。

### 【評価結果】

No	事業名	事業実施主体名	平均点	18点未満人数
<b>【自由提案型事業】</b>				
①	8020 運動推進事業 「みんなの歯を磨き隊」	宮古歯科医師会	27.3	0
②	「鍬ヶ崎に賑わいを！！」 港町鍬ヶ崎地区の賑わい創出	鍬ヶ崎元気市の会	26.4	0
③	家庭訪問型子育て支援事業	特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい	28.2	0
④	社会的孤立を支援する事業	社会的自立支援共同事業体	26.2	0
⑤	コミュニティガーデン 「花かおる散策路」	みずき会	25.8	0
⑥	昭和思い出探し ～宮古の七夕、クリスマス、ひなまつり～	昭和通りのおかみさんもてなしたい	24.7	0
⑦	めぎせ！元気なみやこっ子食育教室	宮古市食生活改善推進員協議会	26.7	0
⑧	こどものまち「みやっこタウン」の開催	NPO 法人みやっこベース	26.1	0
<b>【テーマ設定型事業】</b>				
⑨	企業の魅力を調査発信する取材型インターンシップ事業	NPO 法人みやっこベース	26.8	0

※採点基準（30点満点）

- 24点以上（8割以上） 候補事業とする
- 18点以上24点未満（6割以上8割未満） 協議により判断
- 18点未満（6割未満） 候補事業としない

※審査表に記載されたコメントは、各団体あての通知表に掲載する。

## 令和5年度第3回宮古市市民自治推進委員会【会議録】

- 1 日時 令和5年10月6日(金) 13時30分～16時40分
- 2 場所 宮古市市民交流センター「イーストピアみやこ」2階多目的ホール
- 3 委員 (1) 出席者：10名(委員15名中半数以上出席につき、会議成立)  
 ① 昇高茂樹(委員長) ② 戸由忍(副委員長) ③ 八島彩香  
 ④ 本多政彦 ⑤ 澤田亮 ⑥ 山口寿恵 ⑦ 志賀政信  
 ⑧ 小林智恵子 ⑨ 佐々木聡子 ⑩ 小野寺美賀子  
 (2) 欠席者：5名  
 ① 香木みき子 ② 祝田誠 ③ 三浦博勝 ④ 長洞慶幸  
 ⑤ 門坂知実
- 4 事務局 7名  
 (1) 企画部  
 ① 企画部長 多田康 ② 企画課長 箱石剛  
 ③ 同課企画調整係 主任 田中与土  
 (2) 市民生活部  
 ① 市民生活部長 若江清隆 ② 生活課長 川原栄司  
 ③ 同課 副主幹兼男女参画・協働推進係長 小向和美  
 ④ 同係 主査 名取綾子

### 5 団体

区分	No	事業名	事業実施主体名
自由 提案型 事業	①	8020 運動推進事業 「みんなの歯を磨き隊」	宮古歯科医師会
	②	「鍛ヶ崎に賑わいを！！」 港町鍛ヶ崎地区の賑わい創出	鍛ヶ崎元気市の会
	③	家庭訪問型子育て支援事業	特定非営利活動法人 ふれあいステーション・あい
	④	社会的孤立を支援する事業	社会的自立支援共同事業体
	⑤	コミュニティガーデン 「花かおる散策路」	みずき会
	⑥	昭和思い出探し ～宮古の七夕、クリスマス、ひなまつり～	昭和通りのおかみさんもて なしたい
	⑦	めざせ！元気なみやこっ子食育教室	宮古市食生活改善推進員協 議会
	⑧	こどものまち「みやっこタウン」の開催	NPO 法人みやっこベース
テーマ 設定型 事業	⑨	企業の魅力を調査発信する取材型インター ンシップ事業	NPO 法人みやっこベース

- 6 事業  
担当課
- (1) 宮古歯科医師会  
保健福祉部 健康課 新里保健センター 所長 沢田祐里子  
主任保健師 永田絵里花
  - (2) 鍬ヶ崎元気市の会  
産業振興部 産業支援センター 産業支援係 係長 皆野川徹  
主任 佐々木英明
  - (3) 特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい  
保健福祉部 こども課 子育て支援係 主事 福土成佳
  - (4) 社会的自立支援共同事業体  
保健福祉部 福祉課 地域福祉係 係長 中村寛亮  
主任 澤口英明
  - (5) みずき会  
産業振興部 産業支援センター 商工労政係 主事 木村孝輝  
主事 加藤理子
  - (6) 昭和通りのおかみさんもてなしたい  
産業振興部 観光課 施設係 係長 藤原優子、
  - (7) 宮古市食生活改善推進員協議会  
保健福祉部 健康課 成人保健係 主査 加藤富久子  
母子保険係 管理栄養士 中田美咲
  - (8) NPO 法人みやっこベース  
教育委員会 学校教育課 学習指導係 係長 菅原淳
  - (9) NPO 法人みやっこベース  
産業振興部 産業支援センター 商工労政係 係長 工藤翠

7 傍聴者 1名

- 8 議事等
- 生活課長が会議の成立要件に基づき委員会の開会を宣言。市民生活部長、委員長からの挨拶後、委員長が議長となり会議を進行。
- (1) 令和6年度実施提案事業の審査について
  - (2) 令和6年度実施提案事業の審査結果について

- 9 挨拶
- (1) 若江市民生活部長
  - (2) 昇高委員長

#### 10 議事(概要)

- (1) 令和6年度実施提案事業の審査について

(事務局説明：生活課 男女参画・協働推進係)

資料1～6に基づき、審査方法について説明。

その後、対案事業実施団体及び担当部署から企画提案内容についてプレゼンテーションを行い審査。各委員から質疑応答を受け審査を実施した。

※プレゼンテーション内容は省略。次のとおり意見・質疑を受けた。

① 8020 運動推進事業「みんなの歯を磨き隊」：自由提案型事業  
【団体名】宮古歯科医師会（健康課 新里保健センター）

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員	コロナ禍で実施が制限されたと思うが、実施予定はコロナ過以前程度まで回復しているか。
A：宮古歯科医師会	全体の数は把握しておりませんが、コロナ禍中は、数施設しか実施できませんでした。令和5年度から、歯科医師会も各施設の足並みをそろえて実施したいということで、二十数か所ある施設で進めています。

② 鍬ヶ崎に賑わいを！！「鍬ヶ崎元気市」の開催：自由提案型事業  
【団体名】鍬ヶ崎元気市の会（産業支援センター）

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員	鍬ヶ崎の地域コミュニティ形成の充実という部分もあると思うが、「鍬ヶ崎元気市」へ来ている鍬ヶ崎の方の割合はどのくらいか。
A：鍬ヶ崎元気市の会	近隣地域の高齢の方が多く徒歩で来場されています。初めて「鍬ヶ崎元気市」を行った際も、震災後、別の地区に移り住んだ方たちとの再会の場にもなったということをお伺いしております。
Q：委員	学校との連携の中で、中学生から小学生のチャレンジショップ等の開催とあったが、鍬ヶ崎地区の小・中学校となるか。
A：鍬ヶ崎元気市の会	鍬ヶ崎小学校及び第二中学校となります。
Q：委員	「鍬ヶ崎元気市」は「出張元気市」も行っており、観光ツールになっている一面もあると思う。地域課題の解決、新しい宮古の地域づくりの発信、という形で掲げて良いのではないか。
A：鍬ヶ崎元気市の会	参考にさせていただきます。

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：産業支援センター</p>	<p>【資料6】意見書P2「5 役割分担は明確かつ適切か」について、評価を「2 役割分担は明確で適切である。」としている理由を教えてください。</p> <p>事前準備や当日の運営は、一緒に実施していることから、あえてそこははっきり分けておりません。 他の事業も進めながら実施している部分もあるので、役割分担は明確にせず、適宜、お互いに協力し合いながら進めています。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：鍬ヶ崎元気市の会</p>	<p>1年目の手ごたえをどのように感じているか。また、今後に向けてどのように思っているか。</p> <p>提案事業としては1年目ですが、令和2年度から実施している事業です。令和2年度はコロナ禍で、他のイベント等がないため参加してくれる出店者が多くあり、来場者もたくさんの方に来ていただきました。令和4年度からは多数のイベントが開催されるようになり、出店者、来場者ともに減少傾向という課題があります。その中でも他のイベントと比べた上で「鍬ヶ崎元気市」に出店したい、という出店者もいます。同じ想いを持ってくださる方が増えてきたことは、これまでの成果と思っています。</p>

③ 家庭訪問型子育て支援事業：自由提案型事業

【団体名】特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい（こども課）

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい</p>	<p>ボランティアの状況はどうか。利用度に対し、ボランティアにゆとりがある状態か。</p> <p>訪問ボランティアは現在23名。年代は30～70代までで、ケースによってお願いする年代が違います。例えば、2歳児を外で遊ばせたい、という要望等があった場合に高齢ボランティアの方の対応は難しく、逆に初めての出産で、何をすることも不安を感じているような方に対しては、高齢の方にもお願いできる等、マッチングは必要になりますが、利用の依頼に対し待機はさせていません。</p>

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい</p>	<p>各種要望があることから、ボランティアのスキルアップ研修が必要であることは理解した。新規募集は人柄等もあり、増やすことは難しい状況か。</p> <p>家庭に何うため「誰でもいい」ということではなく、ボランティアということもあり、志のある方でないとお願いできないできません。ボランティア養成は4日間の研修を受けていただき、守秘義務や話の聞き方等について学んでいただきます。利用件数に対してボランティアが多く、出番がないとボランティアのモチベーションが上がらないことから、バランスが必要です。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい</p>	<p>母親の立場として、大変ありがたい事業と感じている。市の役割分担としている事業周知について、チラシを何度かもらったことがある。これからインスタグラムも使う等、情報発信の強化はしていくと思うが、その他の周知方法の予定はあるか。</p> <p>市内のドラッグストアや図書館をはじめ、お母さんが行きそうなところを回り、チラシの配架や掲示をお願いします。また、コンビニについても、掲示なら良いと申し出ていただいている店舗もあります。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい</p>	<p>個人的な要望だが、自分がママサロン等を利用する際に、会場の様子やどんなスタッフがいるか等が気になり、インターネットで検索をする。インスタグラム等のSNSで情報発信する時は、プライバシーに関わると思うが、スタッフの顔や加工をした上で活動の様子がわかる写真等があると良い。</p> <p>ボランティアスタッフについても顔がSNSやインターネット等へ掲載されることに抵抗感がある方も多く、理解いただくことが難しい状況です。ただし、事業やタイミングによっては可能性があるので検討させていただきます。</p>

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい</p>	<p>事業を継続していく中で、専門家が必要になる場面があると思う。保健師等の人数は充足しているか。</p> <p>「宮古市は子育てにかなり力を入れている」と、他県から転入してくる方からよく聞きます。また、私の主観ですが、子育て関連イベントのスケジュールが毎日のようにあって良い、という声が多いとも感じています。</p> <p>事業で訪問し、気になる家庭については、宮古市の保健師に訪問を依頼しており、保健師からは、専門家の必要性はないが気にはなる、という場合等に当事業を紹介する、というように連携して事業を行っています。</p> <p>保健師の方も申込者を待たせているようには見えず、ケースによってすみ分けをし、利用していただくことができていることから、保健師の数が足りない、という印象はありません。</p>

④ 社会的孤立を支援する事業：自由提案型事業  
【団体名】社会的自立支援共同事業体（福祉課）

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：社会的自立支援共同事業体</p>	<p>最終目的が「否定的自己感の改善」ということで非常に成果が見えにくいですが、これまで、利用者の何割が最終目的に到達したか。</p> <p>この事業を始めてから 10 年以上が経過しており、その間、30 数名の方が何らかの形で自立に向かって歩み始めています。これまでの利用登録者名簿に 80 名くらい登録があるので、4 割くらいが何らかの形で動き始めています。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：社会的自立支援共同事業体</p>	<p>現段階で、どのくらいの人が利用しているか。</p> <p>昨年度は 26 名ほどの登録があった。自立に向かって歩み始めはするが、順調に社会的自立支援事業が全く不要になることはなく、再び相談に来ることもあり、繰り返し進んでいきます。名簿の他にも相談を受けながら事業を行っており、年間を通し 50 名近くの方と何らかの連絡を取り合っています。</p>



発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：社会的自立支援共同事業体</p>	<p>プレゼンテーション資料「協働の必要」について、「一般市民の理解と対応」とあるが、「対応」とは、どのような考えで書かれたものか。 何かトラブルがあったためか。</p> <p>今のところ大きなトラブルはありません。 定期的なセミナーや、専門家を呼んでの講演会をすることにより理解を深めていただいています。自分たちが直接市民の方々に対応するというよりは、環境づくりや対応の仕方等「理解を広める」ということが中心になってきています。 また、広報等でも一般市民に引きこもりの実情や対応の仕方等を広げ、事業の中で周知できるものは掲載し、その中で一緒に参加してもらい、引きこもりの人たちとも関われる場を設定する等、理解を広めることが重点と考えます。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：社会的自立支援共同事業体</p>	<p>リーフレット等を発行する際に、「こういう言葉は辛い、きつい」等の例示があると、理解と対応が進みやすいのではないかと。発信の方法の検討をしてほしい。</p> <p>自分たちがセミナーで学んでいるような内容を一般の方に向けても広報していけば良いと感じています。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：社会的自立支援共同事業体</p>	<p>対象になる引きこもりの人だけでなく、家族や環境に対してのセミナーや相談等の対応はしているか。</p> <p>引きこもりの場合、家族へのサポートから始まり、名簿上 26 名の登録がありますが、本人に会っていないことの方が多く、家族と面談をして方針を決めます。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：社会的自立支援共同事業体</p>	<p>家族のサポートに係る予算はこの事業にはないか。</p> <p>相談活動の中に含めています。 体験学習の中でも、家族も一緒に行う場合もあり、家族に向けても使われています。</p>

⑤ コミュニティガーデン「花かおる散策路」：自由提案型事業  
【団体名】みずき会（産業支援センター）

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：みずき会</p>	<p>電線地中化工事の関係で大変と思うが、工事の進捗等事業との関係はどうなっているか。</p> <p>工事は中央通りに直接関わるものではありませんが、土埃が多い状況です。通常、年間2回、土砂の除去をしますが、工事開始後は1～2か月に1回程度、みずき会のメンテナンス事業の一部として行っています。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：みずき会</p>	<p>【資料5】企画提案書「提案事業を進めていくうえで想定される課題」で「収益事業の検討が必要」とあるが、現時点で収益事業の案や計画はあるか。</p> <p>9月30日、10月1日に開催した産業まつりにおいて、事業で作成したキャンドルを一つ100円で販売しました。また、平泉との交流により香袋も完成し、11月3日開催予定のキャンドルストリートで展示販売をする予定です。多少ではありますが継続して収入源としたいと考えています。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：みずき会</p>	<p>令和4年度に開催されたキャンドルストリートに行き、集客力のあるイベントだと感じた。</p> <p>事業の中で、一番即効性があると思うが、回数を増やすことは考えていないか。</p> <p>キャンドルストリートはみずき会が協力し、中央通り商店街が年に1回、11月3日に毎年開催しており、イベントが少なく寒さに向かっていく時期に宮古でのイベントがないため、今後も年間事業の一環として継続したいと考えています。</p> <p>また、同日に「うみどりマルシェ」実行委員会が「うみどりマルシェ」を開催し、日中から集客していただくことで、夕方までお客様を滞留してキャンドルストリートに繋げていただいている。</p>

⑥ 昭和の思い出探し～宮古の七夕、クリスマス、ひなまつり～：自由提案型事業  
【団体名】昭和通りのおかみさんもてなしたい（観光課）

発言者	内容及び発言要旨
<p>Q：委員</p> <p>A：観光課</p>	<p>今年度は客船の入港が多かったが、令和6年度以降も入港予定はあるか。</p> <p>観光課が客船の主管課ではないので、詳細はわからないが、情報として今年度、令和5年度並みの入港予定数と聞いている。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：観光課</p>	<p>プレゼンテーション資料「事業の目的」で、「観光客へのPR不足」とあるが、客船で来る方へのPR方法はどのようにするか。</p> <p>船によって特徴の違いやエージェントによって対応が違うので難しいところですが、事前にチラシを乗せていただけたところには、街歩きのチラシや観光パンフレット等を船に積ませていただいています。</p> <p>また、船を降りてすぐのところにお観光案内所を設置し、街なかのイベントチラシを配布する等のPRを行っています。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：昭和通りのおかみさんもてなしたい</p> <p>A：観光課</p>	<p>客船を降りてから、街なかへの移動はシャトルバスのようだが、実際どれくらいの人が街なかに来ている手応えがあるか。</p> <p>一番多かったのは、ダイヤモンドプリンセスの時に、乗船者の大半が外国人だったということもあり、琴の演奏や抹茶のお振舞い、着物の試着を行いとても好評で、抹茶や着物の購入に繋ぐことができました。</p> <p>また、通訳の方も、大変丁寧に通訳していただいたため、良い交流ができたと感じています。</p> <p>実際の入込み数は把握できていないことから、宮古市の観光行政の中でも課題として捉えています。数の把握は大事なので、来年度は観光課も工夫しながら、効果検証等を把握できるよう一緒に検討し、進めていきたいと考えています。</p>

## ⑦ めぎせ！元気なみやっこっ子食育教室：自由提案型事業

【担当課】宮古市食生活改善推進員協議会（健康課）

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員	今まで学校に親を呼んで参加した事例はあるか。
A：宮古市食生活改善推進員協議会	田老地区で参観日に合わせ、実施した事例が1件あります。
Q：委員	プレゼンテーション資料「事業の経費」印刷製本費で、リーフレット印刷経費を大幅に減額している理由は何か。
A：宮古市食生活改善推進員協議会	生徒数が減少していること等により、残部があり、令和6年度の該当児童数分は確保できるため減額しました。
Q：委員	「朝ご飯を必ず食べよう」ということを各家庭にアピールするときに、クレームが入ったことはないか。
A：宮古市食生活改善推進員協議会	ありません。特に今年のように猛暑が続くときは、むしろ朝食をたくさん食べて登校するようにと、親御さんに話すこともあります。

## ⑧ こどものまち「みやっこタウン」の開催：自由提案型事業

【担当課】NPO 法人みやっこベース（学校教育課）※八島委員は評価対象外

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員	プレゼンテーション資料「みやっこタウン 2024 開催」で、目標数を200人集めるとなっているが、目標は達成できそうか。
A：NPO 法人みやっこベース	令和5年度の定員150名に対し、152名の応募がありました。途中まで申し込みが増えなかったため、担当課に相談し、何校かを直接訪問。事業概要を説明し参加者を募ったところ、定員を超える申し込みがありました。時間がなく、訪問は人数の多い学校のみとなったため、令和6年度は人数の少ない学校も訪問して説明することにより、子供たちが興味を持ってくれると考えます。

発言者	内容及び発言要旨
O：委員	<p>また、今年度は、初めて旧赤前小学校を活用する予定ですので、200人の受け入れがどのようになるか、10月8日の開催の結果をもって検討していきます。</p> <p>みやっこタウンは内容と参加する子供の人数が、両輪になっていると思うので、多くの子供にいろいろな体験をしてもらえるよう、がんばってほしい。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：NPO 法人みやっこベース</p> <p>Q：委員</p> <p>A：NPO 法人みやっこベース</p>	<p>中学・高校生ボランティアと一緒に運営しているということだが、人数的にはどれくらいか。</p> <p>こども実行委員として、企画から一緒に考えてくれたのは約12名で、その後、部活やバイトで難しくなった子を除き、8～9名が中心となって運営しています。</p> <p>明日からの準備と当日運営は高校生と大学生が20～30名程のボランティアスタッフとして協力予定です。</p> <p>ボランティアはどのように活動しているか。</p> <p>特に令和4年度に参加した中学生4～5名が、過去参加者として企画側に回っており、とても積極的に意見し、改善に繋がっています。一方で、令和5年度は、参加者が多忙で、みんなで集まって作業する機会をとれないことが課題として捉えています。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：学校教育課</p>	<p>プレゼンテーション資料「提案事業の内容」事業の役割分担【市】で、「効果検証の評価項目についての助言」とあるが、この事業に対しての効果検証か、それとも、審査資料作成の助言という意味か。</p> <p>市におけるキャリア教育全体に係る、みやっこベースの事業内容についての助言です。</p>
Q：委員	<p>【資料6】意見書P8「5 役割分担は明確かつ適切か」についての評価が「1 役割分担は非常に明確で適切である」ではなく、「2 役割分担は明確で適切である」とした理由は何か。</p>

発言者	内容及び発言要旨
A：学校教育課	<p>提案事業での実施は令和4年度からで、以前は教育振興基金の補助を受けて実施していました。「みやっこタウン」は、コロナ禍で3年ほど開催できなかったところ、令和4年度に久しぶりに開催し、これまで提案事業としては1回の開催のみ。10月8日の開催を通じ、連携を深めながら令和6年度以降に向けて共に進めたいと考えています。</p>

- ⑨ 企業の魅力を発信する取材型インターンシップ事業：テーマ設定型事業  
【団体名】NPO 法人みやっこベース（産業支援センター）  
※八島委員評価対象外

発言者	内容及び発言要旨
Q：委員	<p>令和5年度は、県外からの参加希望者が多かったため、令和6年度は交通費等を多く見積もったということだが、将来的には宮古の人に多く来てほしいというジレンマがあるように見受けられた。どのように考えているか。</p>
A：NPO 法人みやっこベース	<p>予算は市との調整となるが、地元の企業を知らずに外に出て、帰ってこないのは悲しいと感じており、市の媒体を通じて周知したいと考えています。できれば、宮古市出身の学生に来てもらいたいのが市担当部署と共通するところで、今回、インターンシップに参加する関東や首都圏の学生にとって「宮古に行ってみよう」ということが、一つのチャレンジになっていると感じています。そういう意味では、地元にはわざわざインターンシップのために来ることが直接強い動機に繋がらないという気もしており、今回初めて実施し、結果も出ているので、それを職場体験として発信していけば、宮古市出身の学生の興味を引けると思っています。</p>
A：産業支援センター	<p>できれば今回もUターンメインで募集したかったところですが、皆さんに聞いてみると「プロジェクトインデックス」（日本全国のインターンシップ検索サイト）のインターネットの記事からこの事業に申し込んだ方が多かったため、Iターンの方が多くなっても耐えられるように、予算を調整しました。</p>

発言者	内容及び発言要旨
O：委員	<p>また、今回の受け入れについて事業者に声を掛けたところ、ほとんどの事業者が大学生のインターンシップの受け入れが初めてだったことから、宮古出身者であっても、宮古市でインターンシップをできる企業があることを知らない可能性があると感じています。</p> <p>令和5年度に作成したNOTE（クリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿し、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォーム）の記事に宮古市公式HPからリンクを貼り、より多くの人に見てもらえるようにしながら、令和5年度事業で作成する動画を活用し多くの宮古出身者へ宮古でもインターンシップができることをPRしていきたいです。</p> <p>宮古短期大学でも、宮古市内にはあまりインターンシップができるところがないという話がある。そこでも活用できれば良いと思う。</p>
<p>Q：委員</p> <p>A：NPO 法人みやっこベース</p> <p>Q：委員</p> <p>A：NPO 法人みやっこベース</p>	<p>今回「Uターンの方を募集したかった」ということだが、【資料5】令和6年度「収支予算書」2. 支出「役務費」フィールドワーク用経費について、学ぶ防災プログラムとあるが、何か意図するところがあるのか。</p> <p>学ぶ防災や、遊覧船「宮古うみねこ丸」については初日のオリエンテーション後にフィールドワークとして体験していただいています。宮古の企業で活動する中で震災や観光資源等については地元出身者であっても理解した上で参加してほしいと考えています。</p> <p>Iターンの人には「学ぶ防災」は必要な学習だと思う。歴史も含め「自分が住まう町」の地域性等について知ることは必要。一方で、もしUターン者をこの事業の中で優先したいのであれば、必要性が低いのではないか。「津波があったから帰りたくない」という人もいる可能性があるので、内容と募集対象の設定に相違があるのではないか。</p> <p>地元出身の学生には違う内容も検討していきたいと思います。</p>

発言者	内容及び発言要旨
○：委員	対象をUターンとするかIターンとするか、ということについて、受け入れ施設からすれば、どちらでもよいのではないかと。理想とすれば、地元や県内から募りたい、とは思いますが、目的の一つとして、学生が体験して書いた記事を同年代の方が見て地元に戻るきっかけになるということがある。意識が高く優秀な方が、受け入れ企業をより良く紹介してくれる、という視点から見れば、どちらでも構わないと考える。
○：委員	第1、2回の「みやっこタウン」の参加者が、大学生になっている。Iターンを増やしたいとなったとき、「みやっこタウン」と連携させたらおもしろいのではないかと。せっかく同じ団体が事業実施するのであれば、インターン生に「みやっこタウン」への意見をもらうことや、「みやっこタウン」に参加した子どもたちが、インターンシップに来てくれる動機付けになるように仕掛けたら、Iターンも増えるのではないかと。

■ 各委員及び市事務局担当部長からの振り返り等について

評価結果集計中に、本日の振り返り及び意見等について、委員長から各委員及び市事務局担当部長へ伺う。以下、発言内容。

発言者	内容及び発言要旨
委員①	令和4年度の提案と同事業の内容ではあるが、継続は悪いことではなく、きちんと効果が達成されていけば良いと思う。それぞれ説明については、現状の捉え方を分析しながら、宮古市にとって良いことに繋がる方法を考えながら作っていて、好感が持てた。手段と目的が一緒になっている団体は、事業を続けていくにあたり少し精査が必要な部分もあると感じた。いずれの事業も宮古市民がより幸せになってもらいたい、という気持ちで事業を行っていることが伝わり、大変良かった。
委員②	去年と同じ事業内容でわかるような点もあり、発言しにくかった。プレゼン資料や発表は、事業が想像できるもの、伝わってこないものがあり、時間制限等もあり大変だとは思いますが、担当課が関わるのであれば、もう少しわかりやすいものを作ってほしい。



発言者	内容及び発言要旨
委員③	<p>継続できることは素晴らしく、そこに意味があると思う。例えば、みずき会も収益事業を考えているという話があった。提案事業から、独立して活動できる団体ができ、提案事業から卒業し、新たな団体が事業を生み出す、という流れができたならより活性化すると思う。</p>
委員④	<p>県等は予算書だけで、誰がやっているのかよくわからなところもあるので、「顔が見える協働事業」は良い。</p>
委員⑤	<p>昨年と事業内容が一緒なので、説明等を聞いて少しずつ改善されていることがわかった。改善が難しい団体もあると思うが、少しずつレベルアップしてほしい。</p>
委員⑥	<p>これまでは、自分が所属している団体が必ずあり、審査に関われない部分があった。今回はすべての審査ができ、自分が直接的な地域貢献から離れてしまったと感じた。以前のように、もう少し宮古市のために何かしたい。</p>
委員⑦	<p>2年目になり、仕組みや流れがわかってきた。皆さんそれぞれに工夫を加えて継続していると理解が深めることができてよかった。</p>
委員⑧	<p>委員になり2回目の参加。初めて知った事業内容があった。市民自治推進委員になり、改めて宮古市のことを勉強させてもらった。今後も生活の中で活かせればよいと感じる。</p>
委員⑨	<p>本委員会の前に、皆さんの意見や質問を均等に聞ける機会として、資料を見ながら意見交換ができると良い。 提案事業は委員の皆さんと一緒に作り上げよう、という部分もあると思う。また、事業が独立に繋がれば宮古の未来のためにもなるので、事務局で事前打ち合わせ等の機会の設定についてぜひ検討してほしい。</p>
委員⑩	<p>一覧を見ると長い事業で16年継続している。必要性があつて継続されているので、毎回プレゼンが必要か、というところに疑問が残る。ある程度、期間が経過したら区別があつても良いのではないか。また、この委員会の決定により事業の可否が判断されるので、重みを持って今後の事業の経過を見たい。</p>

発言者	内容及び発言要旨
市民生活部	委員の皆さまからご意見をいただきながら協働参画を推進するため、今、お話しいただいた点については事務局の方でもできるところは改善し、より良い事業実施となるよう、見直すべきところは見直していきたいと考えています。
企画部	<p>皆さまのご意見をお伺いして、とても参考になりました。「収益事業を起こして卒業するチームがあっても良いのではないか」というご意見は、提案事業ではなく市の事業として取り込み、予算化してその団体をお願いする、という卒業のさせ方もあると思います。いつまでも提案事業としていくのかということは我々も疑問を持っており、選別しながら新しい事業、新しい担い手を取り込んでいく取り組みが必要と考えます。</p> <p>また、1個1個の審査で点数を付けるのも大事ですが、「皆さんで合議しながら評価する」というご意見についても、我々で勉強をさせていただきながら、活発に議論ができるよう取り組みを検討したいと思います。</p>

## (2) 令和6年度実施提案事業の審査結果について

審査結果について、以下の審査結果表のとおり生活課から報告。審査の得点の平均点が基準値の24点(30点満点の6割)以上の場合、令和6年度実施提案事業の候補事業とする。

審査結果は別紙【審査結果】令和6年度実施提案事業のとおり。

本日提案されたすべての事業を令和6年度実施提案事業の候補事業とし、結果は事務局でまとめ、市長に報告する。

## 11 その他 ■ 生活課

令和5年度市民自治協働推進事業「地域づくりと協働の講演会」の参加について案内。

- (1) 日 時 令和5年10月31日(火) 14時00分～15時45分
- (2) 会 場 宮古市市民交流センター「イーストピアみやこ」  
2階多目的ホール
- (3) 講 師 高崎経済大学 地域政策学部地域づくり学科 教授  
高崎経済大学大学院 地域政策研究科長  
教授 櫻井 常矢 氏

## 12 閉会

(別紙)

## 【審査結果】令和6年度実施提案事業

No	事業名	事業実施主体名	平均点	18点未満人数
<b>【自由提案型事業】</b>				
①	8020 運動推進事業 「みんなの歯を磨き隊」	宮古歯科医師会	27.3	0
②	「鍬ヶ崎に賑わいを！！」 港町鍬ヶ崎地区の賑わい創出	鍬ヶ崎元気市の会	26.4	0
③	家庭訪問型子育て支援事業	特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい	28.2	0
④	社会的孤立を支援する事業	社会的自立支援共同事業体	26.2	0
⑤	コミュニティガーデン 「花かおる散策路」	みずき会	25.8	0
⑥	昭和思い出探し～宮古の七夕、クリスマス、ひなまつり～	昭和通りのおかみさんもてなしたい	24.7	0
⑦	めざせ！元気なみやっこ子食育教室	宮古市食生活改善推進員協議会	26.7	0
⑧	こどものまち 「みやっこタウン」の開催	NPO 法人みやっこベース	26.1	0
<b>【テーマ設定型事業】</b>				
⑨	企業の魅力を調査発信する取材型インターンシップ事業	NPO 法人みやっこベース	26.8	0

※採点基準 (30点満点)

■ 24点以上 (8割以上)

候補事業とする

■ 18点以上 24点未満 (6割以上 8割未満)

協議により判断

■ 18点未満 (6割未満)

候補事業としない

※審査表に記載されたコメントは、各団体あての通知表に掲載する。